

オンラインセミナー

2025年8月9日(土)13:35~

テーマ「薪・ペレットストーブは2025年新基準でどう評価される？」

これまで薪・木質ペレットストーブは省エネ基準の評価対象外で、使っていても評価されないという矛盾がありました。しかし2025年4月からの新基準では、薪・木質ペレットストーブも一次エネルギー消費量の計算に反映されるようになりました。これにより、薪・木質ペレットストーブを使っても省エネ住宅として認定されやすくなります。具体的にどんなふうに評価されるのか、お話しいただきます。

【講演者】

東北芸術工科大学 建築・環境デザイン学科
教授 三浦 秀一 氏



1963年兵庫県生まれ。早稲田大学大学院博士課程修了。博士(工学)。住まいとまちの環境計画が専門。やまがた自然エネルギーネットワーク代表。地球温暖化をはじめとする様々な環境問題を解決するために、住まいの省エネ対策や地域の資源を活用した再生可能エネルギーの導入を研究しています。自治体の地球温暖化対策の計画策定や再生可能エネルギー導入計画策定に関わり、地域の企業や住民とともにその事業化も行っています。

住宅
エネルギーゼロ
本研究者
が本気で
建てた
薪・ペレット、太陽光・太陽熱、蓄電
ZEH
三浦 秀一

【著書】「研究者が本気で建てたゼロエネルギー住宅
～断熱、太陽光・太陽熱、薪・ペレット、蓄電～」 農文協
2050年「脱炭素化」達成に向けて、住宅でも「ゼロエネルギー化」がますます求められています。無理せぬがまんせぬゼロエネルギーハウス(ZEH)を実現するにはどうしたらいいか？エネルギー専門家が自宅を新築した体験をとおして、具体的にアドバイス。省エネ・断熱の仕方から、太陽光発電・太陽熱利用、薪・ペレットの活用法、蓄熱・蓄電……ゼロエネルギー住宅をどうつくるかという実践的な知識とともに、どうすれば脱炭素化、ゼロエネルギー化が前進するか、というモノサシも得ることができます。

